

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド(愛称:ブラジルの奇跡)」は、2020年6月15日に第21期決算を行いました。当ファンドは、主としてブラジル企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っております。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT

BNYメロン・ブラジル・ インフラ・消費関連株式ファンド (愛称:ブラジルの奇跡)

追加型投信/海外/株式

交付運用報告書

第21期(決算日2020年6月15日)

作成対象期間(2019年12月17日~2020年6月15日)

- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記のホームページの「ファンド一覧」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。
なお、過去5年間の運用報告書(全体版)につきましては、「ファンド一覧」画面の右「ファンド情報」欄の一番下の「運用報告書(全体版)過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

第21期末(2020年6月15日)	
基準価額	7,865円
純資産総額	274百万円
第21期	
騰落率	△ 31.8%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

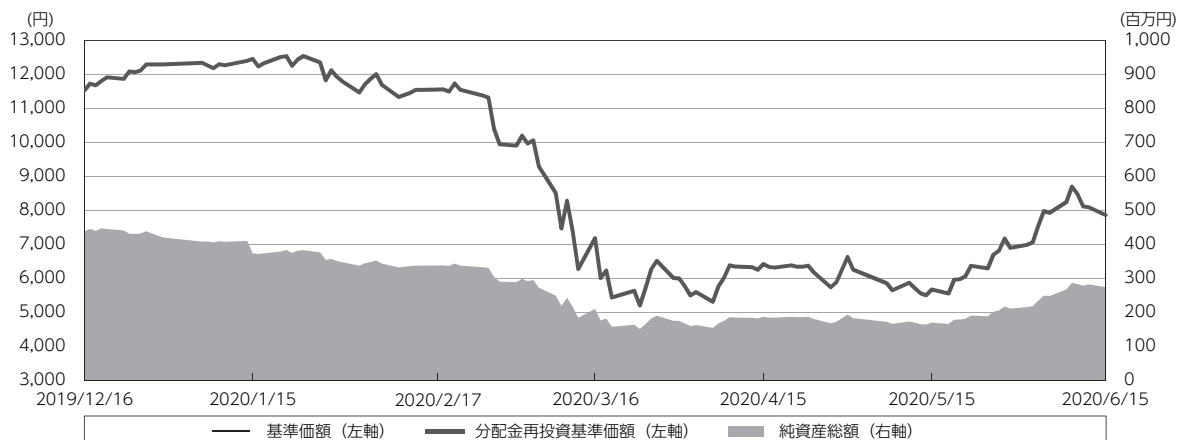
運用商品開発部

電話番号: 03-6756-4600(代表)

受付時間: 営業日の9:00~17:00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

期中の基準価額等の推移



期首：11,529円

期末：7,865円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 31.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・2020年3月下旬以降、世界各国での金融・財政両面からの景気刺激策や、前例のない都市封鎖などの規制が各国において緩和の方向へ進んだことなどを背景にブラジル株式市場が上昇したこと。

(下落要因)

- ・新型コロナウイルスの影響が欧米を含むグローバルに拡大を見せ、ヒトやモノの動きが制限される中で、市場のリスク回避姿勢が急速に高まり2月下旬から3月下旬にかけてブラジル株式市場が大きく下落したこと。
- ・2020年入り後、中国にとどまらずグローバルに新型コロナウイルスの感染が拡大する中、原油価格の急落、ブラジル国内での大規模な感染拡大や政治的な混乱が嫌気され、5月中旬にかけて大幅なブラジルリアル安が進行したこと。

1万口当たりの費用明細

(2019年12月17日～2020年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	91 円	1.023 %	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,925円です。
(投信会社)	(44)	(0.492)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(44)	(0.492)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	11	0.120	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 ※ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(11)	(0.120)	
(c) その他費用	140	1.566	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(124)	(1.392)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(13)	(0.142)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(2)	(0.028)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	242	2.709	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

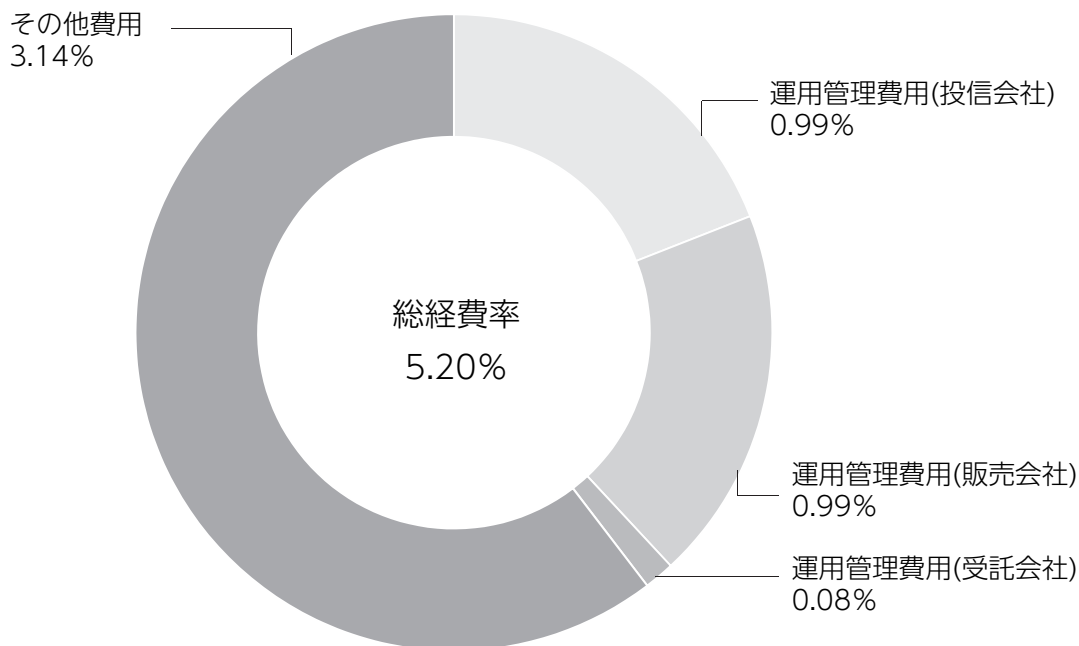
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は5.20%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2015年6月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年6月15日 第11期末	2016年6月15日 第13期末	2017年6月15日 第15期末	2018年6月15日 第17期末	2019年6月17日 第19期末	2020年6月15日 第21期末
基準価額 (円)	8,199	5,998	7,736	7,825	10,078	7,865
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△26.8	29.0	1.2	28.8	△22.0
ボベスバ指数(円換算ベース)騰落率 (%)	—	△29.8	39.9	0.1	31.7	△27.9
純資産総額 (百万円)	1,002	481	532	497	422	274

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) ボベスバ指数(円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

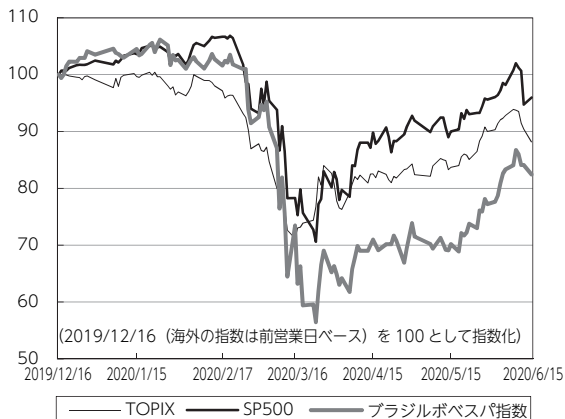
●参考指数に関して

ボベスバ指数は、ブラジルを代表する株価指数であり、サンパウロ証券取引所に上場する株式のうち流動性の高い銘柄で構成されています。

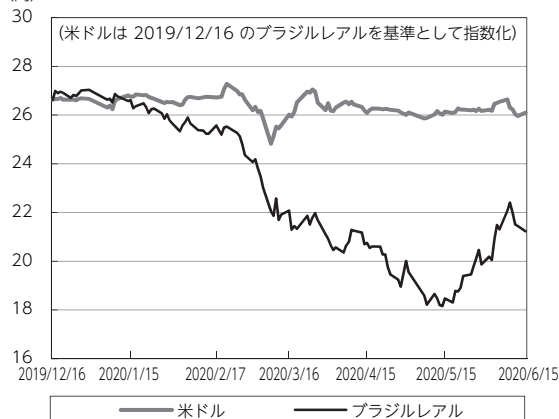
・海外の指数は、基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しております。

投資環境

ブラジル株価指数と日米の株価指数推移



(円) ブラジルレアル (対円) と米ドル (対円) の推移



当期のブラジル株式市場は、2020年以降、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する中、大きく下落しました。代表的な株価指数であるボVESPA指数の当期騰落率は△17.6%（現地通貨ベース）となりました。

ブラジル株式市場は、期初は米中通商協議の進展などを背景に堅調に推移しましたが、新型コロナウイルスの影響が欧米を含むグローバルに拡大を見せ、ヒトやモノの動きが制限される中で、市場のリスク回避姿勢が急速に高まり2月下旬から3月下旬にかけて大きく下落しました。また石油輸出国機構（OPEC）と主要産油国で構成する「OPECプラス」での減産協議が決裂し原油価格が急落したことも、市場の下押し材料となりました。その後は、世界各国での金融・財政両面からの景気刺激策や、前例のない都市封鎖などの規制が各国において緩和の方向へ進んだことなどから上昇しました。

ブラジルレアルは、2020年入り後、中国にとどまらずグローバルに新型コロナウイルスの感染が拡大する中、原油価格の急落、ブラジル国内での大規模な感染拡大や政治的な混乱が嫌気され、5月中旬にかけて対円で大幅なブラジルレアル安が進行しました。その後は、世界各国での景気刺激策や経済再開への期待などから投資家のリスク許容度が回復し、対円でブラジルレアルは上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

運用状況

当ファンドは、主としてブラジルのインフラ・消費に関連する企業の株式の中から銘柄を厳選してポートフォリオを構築しました。

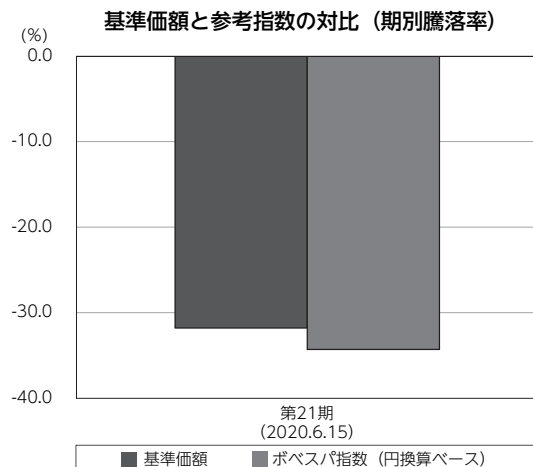
組入比率

期中、株式組入比率については、高位を保ちました。

業種別配分

当期末時点の配分上位3業種は、一般消費財・サービス23.8%、公益事業18.3%、金融14.8%となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異



当ファンドの基準価額の期中騰落率は $\Delta 31.8\%$ となりました。一方で、参考指数であるボブスパ指数 (円換算ベース) の期中騰落率は $\Delta 34.3\%$ でした。

なお、当ファンドはベンチマークを設けておりません。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ボブスパ指数 (円換算ベース) です。詳細は4ページをご参照ください。

分配金

当期の収益分配については、基準価額水準等を勘案して、見送りとさせていただきます。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第21期
	2019年12月17日～ 2020年6月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,454

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

当ファンドでは、引続きファンドの基本方針に則り、主としてブラジルのインフラおよび消費に関連する企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。

■お知らせ

●約款変更のお知らせ

運用報告書を掲載するホームページのアドレスの変更を行いました。（2020年3月16日付）
BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社は、2020年4月1日をもって商号を「BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社」に変更いたしました。これに伴う約款変更を行いました。（2020年4月1日付）

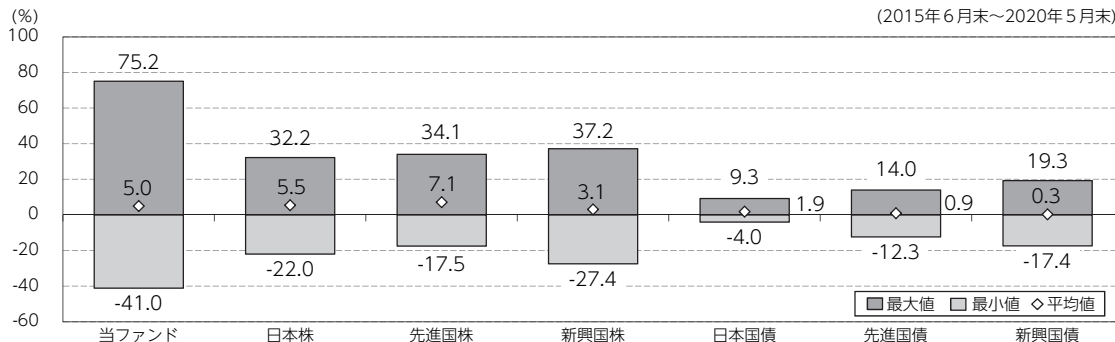
■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	主としてブラジル企業の株式に投資することにより、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	ブラジル企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	①ブラジル企業の株式に投資するにあたっては、インフラおよび消費に関連する企業を主な投資対象とします。 ②ARXインベスティメントスLTDAに、運用の指図に関する権限を委託します。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ④株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ⑤市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	毎決算時（原則として毎年6月15日および12月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年6月末～2020年5月末)



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年6月から2020年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

先進国株・・・MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

日本国債・・・NOMURA - BPI国債

野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

■当ファンドのデータ

組入資産の内容

○組入上位10銘柄

(2020年6月15日現在)

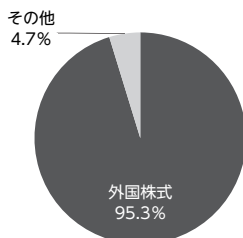
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	B2W CIA DIGITAL	小売	ブラジルレアル	ブラジル	4.0
2	BANCO BRADESCO SA	銀行	ブラジルレアル	ブラジル	3.9
3	VALE SA	素材	ブラジルレアル	ブラジル	3.9
4	VIA VAREJO SA	小売	ブラジルレアル	ブラジル	3.6
5	CIA PARANAENSE DE ENERGI-PFB	公益事業	ブラジルレアル	ブラジル	3.4
6	HAPVIDA PARTICIPACOES E INVE	ヘルスケア機器・サービス	ブラジルレアル	ブラジル	3.4
7	BR MALLS PARTICIPACOES SA	不動産	ブラジルレアル	ブラジル	3.0
8	BANCO DO BRASIL S.A.	銀行	ブラジルレアル	ブラジル	2.9
9	PETROBRAS - PETROLEO BRAS	エネルギー	ブラジルレアル	ブラジル	2.4
10	PETROBRAS - PETROLEO BRAS-PR	エネルギー	ブラジルレアル	ブラジル	2.3
	組入銘柄数		68銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

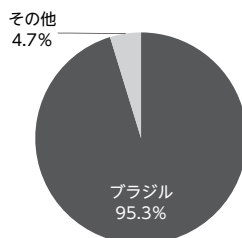
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

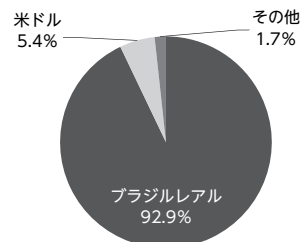
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

純資産等

項目	第21期末
	2020年6月15日
純資産総額	274,852,101円
受益権総口数	349,457,369口
1万口当たり基準価額	7,865円

(注) 期中における追加設定元本額は98,549,192円、同解約元本額は129,515,417円です。